

令和5年度モニタリングシート

【施設名等】

施設名	大洲市肱川高齢者生活福祉センター	位置	大洲市肱川町宇和川65-1
指定管理者名	医療法人 恕風会	所管課	高齢福祉課 Tel0893-24-1714

【施設の概要】

設置年月日	平成5年5月1日	構造	本館 鉄筋コンクリート平屋建 別館 木造平屋建
設置目的	高齢者に対して、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるように支援し、もって高齢者の福祉の増進を図る。		
施設機能	本館：デイサービス事業(ホール兼食堂、機能訓練室、一般浴室、特殊浴室等)支援ハウス事業(単身用4室、夫婦用3室) 別館：障害者の日常生活訓練等事業		
利用料金等	・デイサービス事業:介護報酬の1割、2割又は3割及び実費 ・支援ハウス事業:条例第10条の利用料金、光熱水費、共用雑費 ・障害者の日常生活の訓練等事業:交通費、材料費		
開館・閉館	デイサービス事業、障害者の日常生活訓練等事業の休館日 … 12月30日から1月3日 生活支援ハウス … 年中無休		
指定管理業務内容	・大洲市老人デイサービスセンター肱流苑 ・生活支援ハウス ・障害者の日常生活の訓練等事業		
施設管理体制	・デイサービスセンター:管理者1名、生活相談員3名、看護職員4名(機能訓練指導員4名と兼務、非常勤2名)、介護職員11名(生活相談員2名、調理員1名と兼務、非常勤2名)、機能訓練指導員4名、調理員3名(非常勤)、環境整備員3名(非常勤) ・支援ハウス:管理者1名、生活援助員3名 ・障害者の日常生活訓練等:管理者1名、生活支援員2名		

【施設利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
R5年度	818	879	851	873	925	936	870
R4年度	854	865	924	888	781	788	837
比較	△ 36	14	△ 73	△ 15	144	148	33
	11月	12月	1月	2月	3月	計	
R5年度	864	689	728	827	879	10,139	
R4年度	846	757	731	797	901	9,969	
比較	18	△ 68	△ 3	30	△ 22	170	

【指定管理者としての収入・支出(決算)】

収入内訳	収入金額	支出内訳	支出金額
指定管理料	3,010,000	材料費	3,016,949
通所介護事業	61,527,421	通所介護事業費	63,486,425
介護予防・日常生活支援事業	21,225,691	介護予防・日常生活支援事業費	25,896,402
生活支援ハウス事業	2,131,989	生活支援ハウス事業費	5,284,700
精神デイサービス事業	0	精神デイサービス事業費	271,393
市・県補助金収入	128,988		
雑収入	866,394		
受取利息	113		
合計	88,890,596	合計	97,955,869

【サービス向上に向けた取り組み】

R5年度	<p>新型コロナウイルス感染症の5類に移行に伴い、テーブルに設置していたパーテーションを無くしたことで利用者同士のコミュニケーションが取りやすくなった。またコロナ禍で中止していたボランティア団体や市内の高校や小学校の受け入れを再開しており訪問時には利用者の愛顔があふれていた。地域に根ざした施設として今後も交流の場を広げていきたい。</p> <p>コロナ禍により利用者の外出や運動の機会が減少していることを鑑みて、通常の運動機能向上訓練や筋力向上訓練に加え、散歩やドライブなどの個別機能訓練の内容を充実させ、より楽しみながら活動性の賦活を図ることができた。</p> <p>大型災害や感染症発生時における対策として BCP(業務継続計画)を整備し、備蓄品の再点検を実施した。今後の大災害等に備え予防衣、手袋、マスク等の感染用備蓄品については十分な数量の確保に努めることができた。</p>
R4年度	<p>新型コロナウイルス感染症については、感染委員を中心に職員全体で意識を共有し、感染対策の徹底を図った結果、職員間や利用者間で大きく感染拡大することなく営業を継続することが出来た。</p> <p>本年度より認知症加算を新設し、認知症介護実践者研修修了者3名を中心に、認知症の専門知識を活かしながら、利用者おひとりお一人に合わせた「認知症の症状緩和に繋がるプログラム」を作成し提供している。認知症ケアの充実を図り、認知症の方の症状の緩和や予防に取り組んでいる。</p> <p>業務改善の一環として、ICT機器やソフトウェアの導入を進め、今まで手書きで行っていた各種記録のICT化を図り、事務量の軽減を実現した。業務改善により生み出された時間を利用者とのコミュニケーションやケアの充実に充て、より質の高い介護サービスの向上に努めている。</p>

【利用者から要望と対応状況】

利用者からの苦情・要望等	利用者からの苦情・要望への対応
エアコンの吸い込み口からの風が寒いためどうかしてほしい。	ホールのエアコンが縦置き型のため稼働時に吸込み口からの風による苦情が多数見られた。耐用年数も経過しており、天井付けの空調設備への改修を大洲市に要望する。

【指定管理者の自己検証】

令和5年度の利用者総数は10,139人で、対前年度比101.7%、170人の増となったが、コロナ以前の利用者数まで回復するにはまだまだ時間がかかると思われる。決算については収入が88,890,596円(対前年比101.8%)、支出が97,955,869円(対前年度比100.7%)となった。結果、収支については△9,065,273円と昨年に引き続き大幅な赤字となった。新型コロナウイルスが5類になってからも感染対策については継続して取り組んでいたが、年末に多くの感染者が出たため、3日間営業を中止し感染拡大を防ぐ対応を取らざるを得なかった。新型コロナウイルス感染症については、BCPにおける研修や訓練等を実施し、引き続き感染拡大防止に努めていきたい。

【施設所管課の検証・評価】

事業実施については、指定管理に関する基本協定書及び仕様書の内容を満たしている。
創作活動について、新たな諸活動を加えることで、利用者の満足度を高めることに務めていた。
また、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、感染防止にも努めていた。
令和5年度年間利用者数が10,139人と、前年度より170人増加しており、新型コロナウイルスによる利用控えから少しずつ回復しているものと思われる。引き続き、更なるサービスの向上を図っていただきたい。